２０２４年度【Ａ日程】　大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修士課程法学専攻

2023 年 9 月 2 日実施

受験番号		氏　名		評　点	
科　目	税法（長島）				【社会人】

問題：税法分野においては、各税法以外にも各税法の施行令や施行規則があり、また告示や通達がある。また税法にも各税目について規定する税法（国税、地方税とも）のほか、租税特別措置法や国税通則法がある。また国際法規として租税条約もある。税法とこれらの関係について、根拠法令を示して説明しなさい。なお示す根拠法令はここに挙げたもの以外の法令を用いても構わない。

２０２４年度【Ａ日程】　大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修士課程法学専攻

2023 年 9 月 2 日実施

受験番号		氏　名		評　点	
科　目	税法（山下）				【社会人】

問題：　1947（昭和 22 年）からわが国において採用された「申告納税制度」とは何か、そしてその本質をどのように考えるか、憲法の条文も示しながら、自説を展開してください。

2024 年 2 月 10 日実施

立正大学大学院法学研究科

2024 年度大学院法学研究科

C 日程入試・小論文試験問題

【一般・外国人留学生入試】

＊注意事項

①指定六法以外の参考文献等は、一切認めません。六法は試験終了後回収します。

②解答用紙に解答し、解答用紙と試験問題の両方を提出してください。

④問題は表紙・資料（記事） を合わせて 3 ページあります。落丁等がないかどうか、

試験開始直後に確認してください。

【問題】 〈資料〉を読んで、次の各問に答えなさい。

問 1. 〈資料〉が論じている「制度」の趣旨・内容、およびその制度の利用が進まない理由について、〈資料〉から読み取れることをまとめなさい。
（400 字程度）

問 2. 制度の利用を促進するための方策として〈資料〉で述べられていることをまとめた上で、この問題に関するあなたの考えを述べなさい。
（600 字程度）

〈資料〉（朝日新聞 2023 年 9 月 30 日社説）＊問題作成の都合上、見出しは省略した。

著作権上の都合により非公開

２０２４年度【Ｃ日程】　大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修士課程法学専攻

２０２４年2月１０日実施

受験番号		氏　名		評　点	
科　目	税法（長島）				【一般・社会人】

問題：以下について論述しなさい。

①税法分野においては、各税法以外にも各税法の施行令や施行規則があり、また告示や通達がある。また税法にも各税目について規定する税法（国税、地方税とも）のほか、租税特別措置法や国税通則法がある。また国際法規として租税条約もある。税法とこれらの関係について、根拠法令を示して説明しなさい。なお示す根拠法令はここに挙げたもの以外の法令を用いても構わない。

②上記の関係から、条約による課税要件の定めは有効か否か、考えを説明しなさい。

２０２４年度【Ｃ日程】　大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修士課程法学専攻

２０２４年2月１０日実施

受験番号		氏　名		評　点	
科　目	商事法（出口）				

【外国人留学生】

問題：取締役の報酬について論じなさい。